



復刊第175号
題字 吉岡 彌生

再び会長に就任して

会長 橋本葉子

新緑の美しい5月17日、役員改選を行う社団法人日本女医学会第48回総会が開催されました。理事立候補者は定員内でしたので、総会の席上出席会員の承認を得た後、新理事会による会長、副会長選挙が行われ、不肖橋本が再び会長に選出されました。向こう三年間なにとぞよろしくお願い申し上げます。

現在、日本女医学会が積極的に活動していること、および、しようとしていることをご紹介いたします。

第一は、「女性医師による十代の性と健康の支援事業」であります。これは社会福祉・医療事業団の子育て支援基金の助成金を頂戴して2001年から継続している事業で、本年は最終年度に当たります。十代の

性教育指導者養成講座を五回予定しておりますし、外部委員も入れた評価委員会による評価を含めた最終報告書を提出することになっております。

第二は、2004年7月28日から8月1日まで開催予定の第26回国際女医学会の準備であります。経費面の支援を抑ぐための寄付のお願いや開会式の準備など、今から関係部署にお願いしながらなければと考えております。2nd Circular はお陰様で既に発送することができました。

より学問的な演題が多く提出されることを望んでおります。この国際会議の席上、次々国際女医学会の選出が行われますが、日本女医学会理事でNational Coordinatorであります平敷淳子先生が会長に立候補さ

れました。他にアフリカから一名、スウェーデンから一名立候補しているようですが、日本女医学会として平敷先生を全面的に応援したいと考えております。他国の女医会員で、お知り合いの方がおられましたら、応援していただければよろしくお願ひしていただければ幸甚に存じます。

第三は、女性医師のキャリア形成と健康調査の実施であります。日本における女性医師数は1980年には医師全体の9・7%でありましたが、2000年には約14%を占めるようになりました。二十九歳以下では28・4%、医師国家試験合格者は30%を既に突破しております。しかし、医学部・医科大学における女性医師の教授は僅か1・7%に過ぎず、学術分野における女性の地位の低さが目立っております。

この傾向は諸外国でも同様であると報告されております。長い時間をかけて教育・研修を受けた女性医師が、種々な理由によりキャリアの途絶や停滞は社会的損失であります。今回はパイロットスタディとして、都内六医学部の卒後一〇年～一五年年齢三十五歳～四十歳の男女医師を対象とし、キャリア形成や健康の障害因子を明らかにし、支援体制を整えるための基礎資料となる実態調査を行う計画を立てております。この

もくじ

再び会長に就任して	橋本 葉子 (1)
第48回定時総会開く	石原 幸子 (3)
副会長に就任して	加藤 笠子 (4)
副会長に就任して	鹿田 儀子 (5)
監事に就任して	川田喜代子 (6)
監事に就任して	橋川ふさ子 (6)
〈各部の抱負〉	
庶務部	角田由美子 (6)
渉外部	松井ひろみ (8)
会計部	森川由紀子 (7)
事業部	村田 郁 (8)
学術部	山本 横子 (7)
広報部	大坪 公子 (9)
〈新役員のことば〉	
新理事として	古賀 詔子 (9)
新理事に就任して	齋藤加代子 (10)
新理事に就任して	渋谷さよみ (10)
新理事に就任して	中山真知子 (11)
新理事に就任して	濱田 啓子 (11)
新理事に就任して	船越由美子 (11)
吉岡弥生賞、全く光栄です	安達恵美子 (12)
学術研究助成を授与されて	萩田 桂子 (14)
学術研究助成を授与されて	飯島 尋子 (14)
〈総会特別講演〉 皇室継承の伝統文化について	木村 雅有 (15)
〈第26回日本医学会総会シンポジウム〉	
「我が国における女性医師をとりまく環境の Past, Present and Future」を企画して	水田 祥代 (16)
シンポジウムの司会をして	稗田 慶子 (16)
医師同士が夫婦となつて	藤巻高光・藤巻わかえ (17)
総会で座長をつとめて	青井 禮子 (18)
第1回欧州女医学会に参加して	矢口 有乃 (19)
第26回国際女医学会議にむけて	平敷 淳子 (20)
第26回国際女医学会議を成功させるためのお願ひ	橋本 葉子 (20)
「日本女性腎臓専門医の会」の発足	大坪 公子 (21)
第7回女性医師懇談会	山口いづみ (21)
四十八歳の留学	佐久間もと (22)
〈支部だより〉愛媛支部から	岸 澄子 (22)
稲生裏先生の「柊」ご出版に寄せて	中濱 昌子 (23)
〈書籍紹介〉「性差医学入門」	橋本 葉子 (23)

定時総会議事録

日時 平成15年5月17日(土)

場所 京王プラザホテル

(東京都新宿区西新宿2-2-1)

午後12時34分開会

司会 清水 洋子

社団法人日本女医学会総会開催に際し

出席者 数 一、九七三名

記名委任数 五三〇名

白紙委任数 二五五名

以上のとおり日本女医学会定款第27

条の定足数三九五名に達し、総会が

成立する旨の報告あり、開会を宣す。

会長挨拶 橋本 葉子

物故者への黙禱

平成14年度物故会員に黙禱

報告

一、会務および事業報告 加藤笠子

配布済みの資料にもつき報告

二、平成14年度特別会計報告

吉岡弥生賞基金会計 川田喜代子

国際女医学会記念事業基金会計

以上について配布済みの資料に

もつき報告

三、ナショナルコーディネーター報

告 平敷淳子

議長団選出

小田泰子、中山年子

(議長団、議長団席に着席)

議事録署名人選出

大塚貞子、斉藤文字

議事

第1号議案

①平成14年度一般会計収支計算書

配布済みの資料にもつき報告、

原案どおり可決 川田喜代子

②剰余金処分案 川田喜代子

次期会計へ繰り越すことを原案

どおり可決 野澤良美

会計監査報告

監査の結果適法かつ正確であるこ

とを認める旨の報告、承認される。

第2号議案

平成15年度事業計画案

加藤笠子

〈庶務部〉

会員増加推進

吉岡弥生賞

〈学術部〉

研究助成

学術講演研修会を年数回開催

「女性医師のキャリア形成と健

康調査」の実施

〈事業部〉

全国公募による公開講演会の奨助

荻野吟子賞、地域功労賞の決定

と授与

地域医療奉仕活動への助成

社会保険新報社への原稿協力

月刊「いきいき」に健康記事掲載

講習会等の事業実施

災害、緊急時行動

バザー、親睦活動による事業

ホームページの更新と活用

人材バンクデータベースの運用

糖尿病雑誌「ゆうゆう糖尿病」

の発行

社会福祉・医療事業団「子育て

支援基金」からの助成金による継

続事業

厚生労働省「健やか親子21推進

協議会」の協力団体として活動

(渉外部)

国内各団体との交流

国際交流

他団体との公開講演会の開催

国連NGO国内婦人委員会とし

て活動

国連NGO国内婦人委員会関連

中東女性交流事業の受け入れ団体

としての諸活動

女性の異業種団体との交流

マスコミへの働きかけ

その他

〈広報部〉

機関紙の発行

第26回国際女医学会組織委員会

第48回定時総会開く

新執行部を選出、橋本会長再任

第48回定時総会が、平成15年5月17日(土)京王プラザホテルにて開かれました。

会長挨拶の後、平成14年度の会務報告がなされました。会員数一、九五八名となり、二千名を切ったことで、危機感が持たれました。事業報告では、百周年記念事業と



して、平成14年5月18日(土)京王プラザホテルにて、皇后陛下ご臨席のもと、百周年記念式典を行い、小泉総理大臣らの出席のもと百周年祝賀会を行ったことが報告されました。

ナショナルコーディネーター報告では、台北にて開催された第7回国際女医学会西太平洋地域会議に出席したこと、2004年、第26回国際女医学会に向けての諸活動が報告されました。

議事では第1号議案、平成14年度一般会計収支計算書では、収入は当期収入合計は二千七百三十一万円で、このうち会費収入が二千二百五十三万円で、前期繰越金一千四百五十四万円を入れて、収入合計四千八百八十六万円となりました。

当期支出合計は、二千九百一十一万円でありました。会計監査報告では、適正適法に運用されていると報告があり、承認されました。

第2号議案、平成15年度事業計画案と、第3号議案、平成15年度一般会計収支予算案も、承認されました。第4号議案、次期および次々期総会

2004年国際女医学会開催に向けての活動 子育て支援委員会 社会福祉・医療事業団から助成を受け、「十代の性と健康」指導者養成講座の開催 以上原案どおり可決

第3号議案

平成15年度一般会計収支予算案

森川由紀子

原案どおり可決

第4号議案

次期および次々期総会開催地に関する件

次期開催地 青森 橋本葉子

次々期開催地 愛知 原案どおり可決

その他(橋本葉子発言)

①平敷理事が国際女医学会会長に立候補し、2004年東京で開催される第26回国際女医学会・総会時に選挙がある。日本女医学会全員での応援を決定する。

②14年度末で退任された青井理事に日本女医学会顧問として就任していただいてはどうかと、評議員会で提案された。次期は青森、次々期は愛知に決定しました。

表彰は、吉岡弥生賞に安達恵美子、学術研究助成金は萩田桂子、飯島尋子に授与されました。

新役員を選出は、理事候補者が定

案された。今後理事会の検討事項とする。

表彰

①吉岡弥生賞受賞者 安達恵美子

②学術研究助成金授与者 萩田桂子、飯島尋子

新役員を選出

15条の規定により現役員任期満了にともない役員改選のため選挙管理委員を選出。

柿島八千代、齋藤啓子、齊藤文字、高山博子、二村美英江、山口いづみ

理事立候補者名(二名、五十音順)

石原幸子、内湯安子、大坪公子、加藤笠子、古賀詔子、齋藤加代子、澤口彰子、鹿田儀子、澁谷きよみ、角田由美子、中山真知子、橋本葉子、濱田啓子、船越由美子、平敷淳子、松井比呂美、村田郁、森川由紀子、山崎トヨ、山崎康子、山本綾子、山本詩子

監事立候補者名(二名、五十音順)

川田喜代子、橋川ふさ子

理事定数(二、二五名、監事定数

二名のため定款施行規則23条により

員以内であったため選挙は行われず、決定し、理事の互選により会長副会長が選出されました。会長は、橋本葉子、副会長は、石原幸子、加藤笠子、鹿田儀子に決定しました。

次期開催地の青森支部、前田慶子

無投票当選となるとの報告。

以上承認

会長、副会長互選のため、新役員退室選挙結果の発表

定款施行規則第15条にもつき

新役員による互選の結果、会長に

橋本葉子、副会長に石原幸子、加

藤笠子、鹿田儀子が選任された。

会長 橋本葉子

副会長 石原幸子、加藤笠子、鹿田

儀子

理事 内湯安子、大坪公子、古賀

詔子、齋藤加代子、澤口彰子、

澁谷きよみ、角田由美子、中

山真知子、橋本葉子、濱田啓

子、船越由美子、平敷淳子、

松井比呂美、村田郁、森川由

紀子、山崎トヨ、山崎康子、

山本綾子、山本詩子

監事 川田喜代子、橋川ふさ子

以上承認

閉会の辞 石原幸子

午後2時56分開会

先生が、青森の良さを紹介し、たくさん総会に出席してほしいという力強いスピーチをしました。

総会はスムーズに進行し、和やかな総会でした。

(広報部・大坪公子)

新役員紹介及び各部担当表



橋本葉子会長、加藤竺子副会長、理事: 平敷淳子、村田郁、山崎トヨ、濱田啓子、船越由美子、森川由紀子、澤口彰子、中山真知子、松井ひろみ、内潟安子、齋藤加代子、山本續子、古賀詔子、澁谷きよみ、角田由美子、大坪公子、山崎康子、山本蒔子、川田喜代子、橋川ふさ子、National Coordinator: 平敷淳子、橋川ふさ子監事、川田喜代子監事、山本蒔子監事、山崎康子監事

●新役員各部担当●

Table with columns: 会長, 副会長, 理事, 事業, 会計, 渉外, 学術, 庶務, 広報, 監事, National Coordinator. Lists names and departments.

副会長に就任して

石原 幸子

このたび第48回総会において、再度副会長に選出され、責任の重大さに身の引き締まる思いがいたしております。かえりみずと、この二十年間、私は女医会とともに歩んできた思い出がいたします。長い歴史の中でいろいろの経験をさせていただき、若いときには、ただ先輩を眺めていただけで、ささげられたが、いまは古参として眺められる立場になったと痛感しております。「川の流れるように、回りくねりながら」も今日の日本女医会が、立派に形成され、また社会的にも位置づけが成されたことに深い感銘を覚えております。先輩諸姉のご努力のお蔭と感謝いたしております。

私のもと、マンネリに陥ることなく、古い器に新しい水を注いでいたが、最後のご奉公をいたしたいと思っております。今後とも一層のご支援ご指導をお願いいたし、ご挨拶いたします。

今日の、私たち医師の立場は決して恵まれた状態ではありません。日進月歩の医学、厳しい医療行政、社会の多様なニーズに囲まれ、医師としてのプライドも失いそうなる時代になりました。女医の数も年々増加し、30年には男医と半々になると予想されております。このときこそ女医は手をつなぎ、大きな力となって社会と対峙しなければなりません。その拠りどころは日本女医会です。若い女医の方々にも女医会の必要性を認識し、入会をお願いしたいと思います。

副会長に就任して

加藤 竺子

このたび第48回総会において、副会長に選ばれ、引き続き橋本会長のもと新しい理事会の皆様と共に、日本女医会の運営に携わる事になり、改めて責任の重大さを痛感しております。昨年5月は皇后陛下をお迎えし、日本女医会創立百周年記念式典・並びに祝賀会が厳粛に挙行され、歴史の重さと使命感に強い感動を覚えました。

判断と対応が必要となります。女医会も時代の波に遅れることなく、女性の専門職として原点を見失わず社会的使命を忘れることなく、

副会長に就任して

鹿田 儀子

今期の課題の一つに、来年7月末から「第26回国際女医学会」を東京で開催、という大事な役目があります。会員の皆様のご協力を頂き立派に役割を果たすよう決意を新たにしております。

第48回日本女医学会総会で、副会長に選出され、身に余る光栄に存じます。しかし責任の重さに戸惑っております。三期庶務担当理事をさせていただきます。三期庶務担当理事をさせていただきます。三期庶務担当理事をさせていただきます。

また社団法人日本女医会は公益法人としての役割があり、時代に適した活動をするための基盤整備と活性化も考えなくてはなりません。いま世界の情勢は思いがけない事が次々に起こり予想ができません。テロや紛争、SARSの問題等など、グローバル化した情報や多様な価値観の共存のなかで、的確かつ迅速な

第48回日本女医学会総会で、副会長に選出され、身に余る光栄に存じます。しかし責任の重さに戸惑っております。三期庶務担当理事をさせていただきます。三期庶務担当理事をさせていただきます。三期庶務担当理事をさせていただきます。

第25回学術研究助成のご案内

会員の学術研究に対し助成事業を行っております。希望者がありましたら、応募要項にしたがって、事務局へ申請ください。事務局へお問い合わせいたします。

一、助成の趣旨

医学分野の発展向上を図り、後進の研究助成を目的とする。

二、助成金額

一件三十万～五十万円(三件)

三、申込手続

(1) 応募資格

入会継続三年以上経過した日本女医会会員で個人、またはグループ(ただし、グループ研究においては会員が研究推進の中心的役割をなうものであること)

(2) 助成期間

一年を原則とする。同一人が重ねて申請する場合は、三年以上の間隔を置く。

(3) 応募方法

本会所定の用紙に、黒インキまたはワープロで記入。一通を提出(用紙は事務局へ請求のこと)

(4) 申込期間

平成十五年十二月二十五日(必着)

(5) 選考および発表方法

選考委員会において選考の上、平成十六年三月開催の日本女医会理事会において決定し、申請者宛通知する。

(6) 助成金の贈呈

平成十六年五月開催の日本女医会総会の席上。

(7) 受賞者の本会に対する義務

平成十七年三月末日までに研究経過報告(B5原稿用紙三枚)と助成金使途についての簡単な収支報告を提出すること。

(8) 送り先

日本女医会 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二一八一七

電話 ○三三四九八〇五七一

監事に就任して

川田喜代子

平成6年より事業部を経て、平成9年、青井先生、栗原先生のご指導のもと、新進気鋭の森川先生と一緒

に会計を勉強させていただき、その経験を少しでも活かせるようにとこのたび、監事に就任させていただきました。

さて、ご承知のように、女医の数が全体の15%を超えようとしている

中でも、管理職に就かれる女医の数は5%に満たない現状の改善をはかり、男女共同参画へのアプローチをしていくためには、やはり女医自身

監事に就任して

橋川ふさ子

今期から監事に新しく就任いたしました。

今期から監事に新しく就任いたしました。会計の監査はもとより、会の運営

会計部

森川由紀子

今期会計は、永く担当理事でおられた青井理事が、日本医師会の常任理事になられて勇退され、かつ川田

昨年度は、創立百周年に当たり記念式典を含め各種事業をとおこり

正理に経理することが責務となります。先達の足跡を踏まえてより迅速

今後さらに女医会としての特性を生かして活動していくために、会員の増強を含め、人材の確保に向けて

学術部

山本 續子

このたび、理事に再選され、前期と同様、学術部担当となり、光栄に

2004年は橋本葉子会長のもとに国際女医学会が7月28日～8月1日

幸い内湯安子理事が引き続き、齋藤加代子新理事が学術部を担当下さ

ら多くの参加者が来日されると期待しておりますが、この機会に参加の方々と活発に交流し、学術活動の方

各部の抱負

庶務部

角田由美子

と心得ております。お引受けしな

から感謝いたしております。

今期最大の行事は、2004年7

新医学用語辞典

人工視覚脳皮質インプラント

人工視覚とは、刺激電極を体内に埋め込み、電気信号により脳神経系を刺激して、失明者の視覚の回復を計る人工感覚器のことである。

月28日より東京で開催される国際女



NOVARTIS
THE ARB
DIOVAN
選択的AT₁受容体ブロック

錠80mg
錠40mg

●禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意については、製品添付文書をご覧ください。

製造：日本チバガイギー株式会社
販売：(資材請求先) **バルティス ファーマ株式会社**
東京都港区西麻布4-17-30 〒106-8618

NOVARTIS DIRECT
0120-003-293
受付時間：月～金 9:00～18:00
www.diovan.jp

された各種の調査も考察し、日本医師会の理事に二人の女性理事が参画されましたので、ぜひ日本医師会に、また、教職に就いておられる諸先生を通じて学術団体にもアピールしていく必要があると考えています。

先般交流したエジプトのカイロ大医学部付属小児病院では教授、助教、講師、助手に至るまで女性が

渉外部

松井ひろみ

現在、渉外部として活動の連携を

厳しい経済状況、社会環境が続くなか、就業者数が二年前より増加しました。その原動力は、IT産業の人材需要をはるかにしのぐ、医療・福祉の分野での増加です。今後十年間でこの分野の雇用は七百万人に達するともいわれています。これは団塊の世代が六十五歳以上になる十年後にはさらに高齢者人口が増え、やがて三人に一人の割合になると予測されているからです。いよいよ超高齢社会に突入し、「健康」こそ最大のテーマ、最大のマーケットになると考えられます。この現状をふまえて、研究、教育、地域医療等にたずさわる女医にとって、また、力強く生きる女性にとって、より仕事のしやすい社会環境づくりが必要で、そのためには外部団体との協力体制の強化に努力したいと思っております。

事業部

村田 郁

事業部は石原幸子副会長の指導のもとに、平敷淳子理事を長として、渉外より移られたベテラン理事山崎トヨ、前期より引き継いだ村田理事が担当することになりました。今期は04年7月国際女医会議に向け、平敷理事は事務局長として会の運営にあたりますので緊張致しております。主な仕事として従来から受け継いで来ましたが、活動組織との縦横の連携と処理の迅速化を計りながら参ります。まず①年二回の公開講演会、②荻野吟子賞、地域功労賞、③地域医療奉仕活動への助成、④月刊「いきいき」への健康記事掲載、

⑤講習会等の事業実施、⑥バザー、親睦活動事業、⑦災害、救急時の行動体系化、⑧新事業の発掘、⑨第26回国際女医会議、於東京、2004年7月京王プラザに向けての活動をあげております。

それらの方略として、①公開講演会の規約作成、各支部長を通じての応募。開催にあたっての支援。②は従来の通り会員、支部長、理事からの推薦、④風土社との事務処理の迅速化、⑤は会員、各支部よりの推薦、⑨は大企業です。ぜひ成功させたく存じます。会員皆様のご協力をお願い申し上げます。Eメール

広報部

大坪 公子

による意見交流、ホームページの活用による事業活動も活発に展開して参りたく考えております。

どうぞご希望等お寄せください。

よろしくお願い申し上げます。また今まで事業部をお支えくださいました丸茂昌子先生、吉崎喜美子先生、長い間ありがとうございました。

「世界最初の女性医師—エリザベス・ブラックウエルの一生—」も読みや

新役員のことば

新理事として

宮城支部 古賀 詔子

またこの会誌を通じて、広く社会に女医会の存在をアピールすることを考えています。

会員の相互理解と親睦をはかり、親しみやすく、楽しい女医会誌にするために、皆さまの原稿を募集しています。いつでも本部までお寄せください。

「日本女医会百年史」を皆さまのご協力により平成14年5月に発刊することができうれしく思っています。利用しやすい編集になっていますので、手もとにおいて、いつでもお読みください。(一冊二千円)

過日の第48回定期総会において定数内立候補のため、選挙を行うことなしに理事の承認が可決されました。私も、伝統ある社団法人日本女医会理事の承認をうけさせて頂きました。

もとより非才の身ですので、この重責を果たせるか甚だ不安ですが、会員諸氏の信任を受けた上は専心努力してまいれる覚悟でありますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

日本女医会は近くは、2004年第26回国際女医会議を日本でお引き受けする大役を仰せつかっています。

この会議に向けては組織委員会作りが完了し、早速の準備へと動き出ししております。私も新理事として積極的に働いてまいりたいと考えております。

加えて日本女医会は本来の目的である女性医師の地位向上を目指した働きやすい社会づくり、最終的には全女性の幸せのための女性医師の会へと発展させつつあります。このことが男性も女性も生きやすい社会へと繋がって行くことができればと考えております。

ある先輩理事の女性医師が、私が



5-HT_{1B/1D}受容体作動型片頭痛治療剤

レルパックス錠 20mg
RELPAK[®] Tablets 臭化水素酸エルトリブタン錠

薬価基準収載
創薬 指定医薬品 要指示医薬品 注意—医師等の処方せん・指示により使用すること

効能・効果、用法・用量及び禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照下さい。

Life is our life's work
生命を守るのが私たちの使命です。

ファイザー株式会社
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
資料請求先：マーケティングサービス部

2003年7月作成
■頭痛情報Web:「スッキリンのバイバイ頭痛講座」<http://www.sukkirin.com>



選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
創薬・指定医薬品・要指示医薬品⁽²⁾

パキシル錠 10mg 錠 20mg
Paxil[®] 塩酸パロキセチン水和物 薬価基準収載

注) 注意—医師等の処方せん・指示により使用すること。

●禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元 資料請求先
グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル
<http://www.glaxosmithkline.co.jp>

プロモーション医療
吉富薬品株式会社
大阪市中央区淡路町2-5-6

理事に立候補するにあたり「先輩理事には素晴らしい女性医師がたくさんいらっしゃいます。しっかりお付き合いをし、学んでらっしゃい。」と、はげましてくださいました。

新理事に就任して

東女医内支部 齋藤 加代子

このたび、日本女医学会の理事という大役をお引き受けることになりました。昭和51年に東京女子医科大学を卒業し、小児科大学院修了後、アメリカ合衆国テネシー州立大学で遺伝子研究に携わり、帰国後、麒麟麦酒開発科学研究所、国立精神・神経センターにて研究をさせていただきました。母校の東京女子医科大学の小児科に帰局したのは昭和60年でした。大学の小児科に戻り、さてこれからが自分の本場の研究が始められると考えましたが、先立つ資金は全くありませんでした。そのときに応募して頂戴いたしました昭和61年度の日本女医学会の研究助成金が、私の初めていただいた研究費でした。たしか30万円でした。本場にありがたく、業者に値切つて、小さな電気泳動装置とピペットマンを購入いたしました。研究室も研究費もなく途方に暮れていたときに、日本女医学会が、

理事先輩諸氏に期待しますと共に私も一日も早く日本女医理事として一役を担いたいと願っております。どうかよろしくお願い申し上げます。

新理事に就任して

愛知支部

澁谷 きよみ

このたび歴史ある日本女医会理事の重任に、思いもかけず関わらせていただきます事を、身に余ることと受けとめております。浅学の未熟者で若輩者でございますので、私のような者にとまるのかと、不安でいっぱいですが、引き受けた以上は諸先生方にならい、しっかりと勉強させていただきます。お役に立てるようがんばってまいります。

私もが入局いたしました昭和54年には、医師の中の男女差別というものはなく、女医も一人の医師として、分けへだてなく扱っていたのだと思います。今考えてみますと、これは日本女医学会本部ならびに支部の女医の先輩方のお力あつての事だったのでと思います。当り前のように受けとめていた事が、諸先輩方の並ならぬご努力とご苦労の上に成り立っていた事を、今さらながらに感じ、日本女医学会の歩んでこられた百年余の長い道程と、果たしてこられた活動の数々に、改めて思いをはせてお

なにとぞよろしくお願い申し上げます。過去数十年間に、男女共同参画、国際化など、日本の女医をめぐる社会環境は著しく変化してまいりました。私も次の世代の女医として女医を志す方々のために、お役に立つ事ができればと考えております。折しも来夏には、国際女医会が東京で開催されます。このような大事なときに私どもに勉強の機会を

与えてくださいましたことに感謝いたします。私どもの属しております愛知支部は、創立四十周年を迎えようとしております。前身の懇話会を含めると半世紀余の歴史を刻んでまいりました。その間、歴代支部長、副支部長はじめ理事の方々、会員の方々の努力をもって、日本女医会内でも有数の大会員数を誇る支部となっております。また、佐藤前会長、橋川前副会長(現監事)など本部での活躍があつて、私の如き若輩者が、当日本女医会理事の末席を汚させていただいていると認識しております。これらの方々の功績を考えますと、身のひきしまる思いがいたします。諸先輩方の偉業をはず

吉岡弥生賞推せん

平成15年 吉岡弥生賞 授賞の適格者を、本会理事または支部長宛にご推せんくださるようお願いいたします。締め切り期日は、本年12月25日までに願います。なお、次の書類を添えて、ご推せんをお願いします。
一、自筆履歴書
二、業績
イ 医学に貢献した現会員。
ロ 社会に貢献した現会員。
三、推せん理由

荻野吟子賞推せん

平成15年 荻野吟子賞 授賞の適格者を、本会理事または支部長宛にご推せんくださるようお願いいたします。締め切り期日は、本年12月25日、候補者の経歴、業績と推せん理由を記載し、推せん者の氏名、捺印をもって提出してください。

もありません。そんな不安やストレスから、いくらかでも開放され、同じ悩みや問題を抱えておられる仲間と出会う事は、大きな意義がありました。それが「社団法人日本女医会」の存在でした。

この間、私的には主人の留学に伴い米国二年在住を境に三人十二人の五人の子供を与えられ、その時々の周囲の皆様のおかげで協力に支えられ、子育ても一応終了。また五人目の子供が大学へ入学と同時に主人の父母が高齢となり体調をくずし同居いたし、夫・三男・二女・義父母の九人家族で現在に至っております。現在つど、つど出入りがありますが、そうした中にも日本キリスト教団琴似中央通り協会員として、至誠会道支部長として、また数々の社会活動に参画させていただき、感謝の日々をおくっております。

今後は日本女医学会の理事会の会計部の一員として、また国際女医会議組織委員の一員としてできる限り、ご経験豊かな諸先輩の先生方のお知恵

新理事に就任して

栃木支部

船越 由美子

医師である父、夜中でも急患があると、自転車飛び出して行っていた父、家族の世話、患者さんの世話を明け暮れていた母、そんな家庭環境の中で、誰からいわれなくても、自分は医者になる事のみを思い、何のためらいも無く、この道を選びま

した。医学生の中から、また医者になつてからも、男性医師とは違う、何かをいつも考えさせられました。両親を見送り、母の意志を継いでという立場から、社会的にもまた家庭的にもなかなか難しい舵の時の

雑務に追われて、ただ会費を納めるだけの事ではありましたが、はからずも今回重責ある理事のお役目を承り身の引き締まる思いを噛みしめております。女性医師の活躍は目覚しく、喜ばしい事と思えます。女性であるから感じる悩みや、家庭内の問題、子供の事について等々、奥深い面を話し合い、支援をする中に女医会の存在を示していかれたらと思えます。年齢も弱年化していく、最近の犯罪につきましても、もっと女医の立

新理事に就任して

大阪第8支部 中山 眞知子

初めまして。このたび理事に推挙されました中山です。簡単に自己紹介致します。昭和27年土佐の高知産現在だんじりの町泉州岸和田市在住です。麻酔科です。夏山登山が趣味と言えましようか。数年前より家族で北アルプスを縦走しております。可憐な高山植物にもたくさん巡り会いました。映画鑑賞も大好きです。とりわけドキュメンタリー映画は骨のある作品が多く心惹かれます。中でも藤原智子作品「伝説の舞姫」 崔

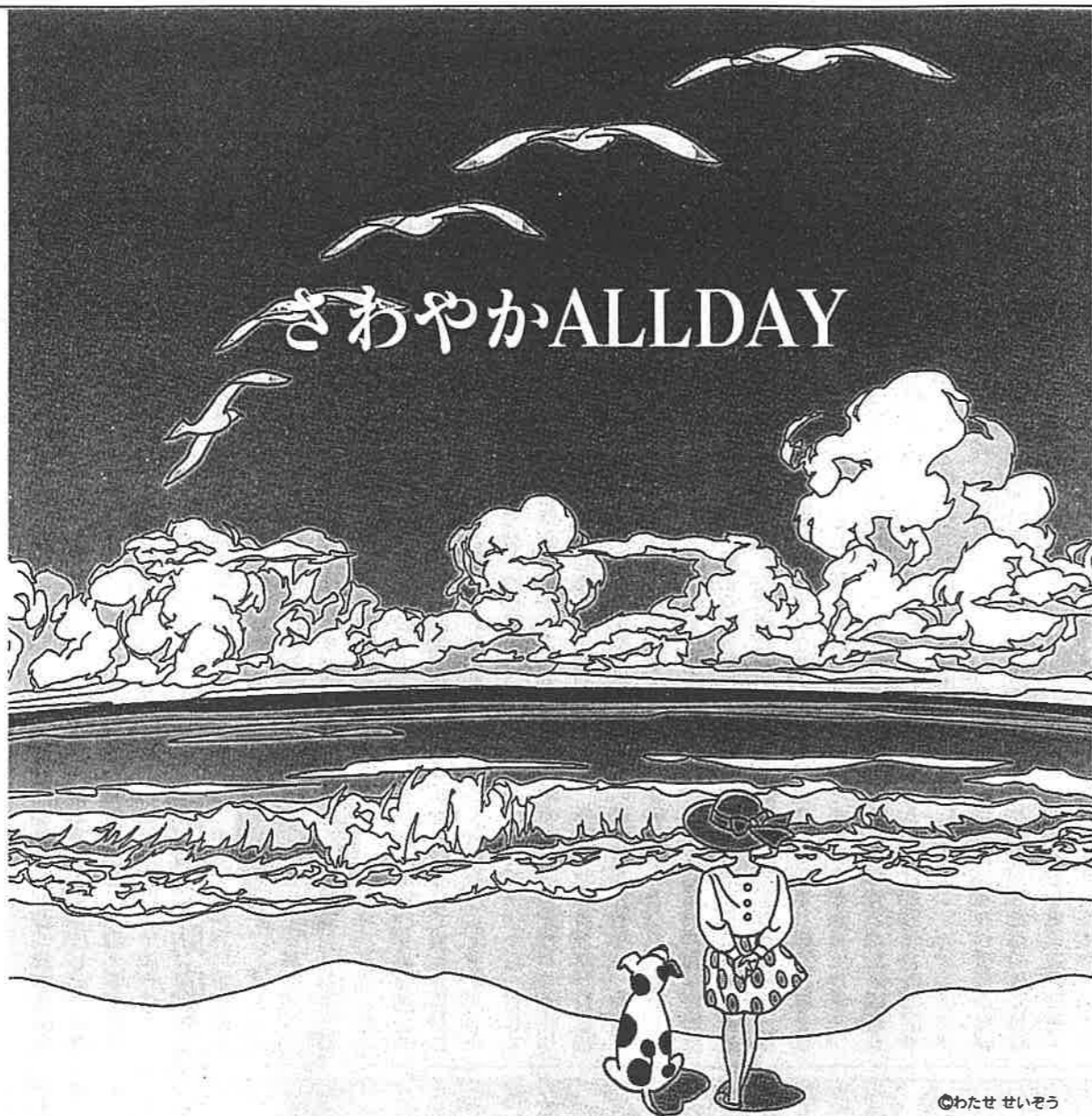
承喜」や羽田澄子作品「早池峰の賦」が忘れられません。新理事の最初の仕事として渉外の役割を頂戴しました。職務は忠実に遂行して行く所存です。来年は国際女医会議が東京で開催されます。いろいろと刺激を受ける事、勉強になる事も多いでしょうが、女医会執行部・会員共に協力一致を誓つて会を立派なものにできればと願っております。とにかくルーキーの身ですのでご指導よろしくお願い申し上げます。

新理事に就任して

北海道支部 濱田 啓子

今般は、本当に若輩、未熟な私が北海道支部前新波支部長、現藤井支部長、北海道支部会員の声を受け、社団法人である日本女医学会の理事という身に余る大任をお引き受けし、緊張しつつ心新たな日々を過ごしております。

昭和49年に東京女子医大を卒業後、決して順風満帆に過ごしてきたわけではない私ではありますが、公的には北海道大学医学部附属病院産婦人科、北札幌病院内科、山の手リハビリセンターを経て、昭和59年以降降職の北祐会神経内科病院に勤務致し



©わたせ せいぞろ

降圧は質の時代へ

高血圧症・狭心症治療薬/持続性Ca拮抗薬——薬価基準収載
劇薬・指定医薬品・要指示医薬品(注意—医師等の処方せん・指示により使用すること)



アムロジン[®]錠^{2.5}/₅
Amlodin[®]ベシル酸アムロジピン

■効能・効果、用法・用量、使用上の注意等は添付文書をご覧ください。

住友製薬

製造発売元 (資料請求先)
 住友製薬株式会社
 〒541-8510 大阪市中央区道修町2丁目2番8号

TEL: 06-6229-5600
 受付時間: 月～金 9:00～17:30(祝、祭日を除く)
 http://e-medicine.sumitomopharm.co.jp

各賞と研究助成

▼吉岡弥生賞、全く光栄です



千葉支部 安達 恵美子

場からのがいえないだろうか、老いて行く者に差し伸べる手には、どんなものがあるだろうか、障害者によりよい社会生活を送ってもらおうと立って、何か役に立つものはないだろうかなど、女医としての問題は山積していると思います。

男女雇用機会均等法にはじまり、男女共同参画社会基本法など、法律や制度はできて、それをそれなりに享受できる女医はごく限られているように思います。

会としての大きな力も意義もあると思います。またそこに希望や生きがいを見出して、ますます問われるであろう、今後の女医としての期待に応えていきたいと思えます。

過去さまざまな諸先生方の示された道標を踏襲しながら、また多くの会員の先生方のお力をお借りしながら、私なりの理事としての務めを果たせていただく所存です。

幸いな事に夫も、娘夫婦も医師として、地域社会や医科大学で、その任務についております。今後ますます自己研鑽に励み、与えられたこの重責を担いながら、努力していきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

吉岡弥生賞(医学に貢献した部門)受賞者と受賞理由

安達 恵美子

浜松医科大学助教授、千葉大学医学部教授として、眼科学の教育・研究・診療に従事し、平成5年の第31回国際臨床視覚電気生理学学会の会長を初め、日本神経眼科学会会長、日本眼科学会総会会長日本学術会議感覚器医学研究連絡委員会などの重責を果たされ、医学の発展に寄与された。さらに、千葉県アイバンクの理事として積極的に一般市民への講演活動を行い、またアイバンク事務局を大学内に設置し、県民・市民の健康福祉に多大なる貢献をした事による受賞。

このたび、吉岡弥生賞をいただき、会の皆様の寛大な心遣いに心からお礼申し上げます。その上今回は、常日頃ご尊敬申し上げておりました橋本先生から、賞を直接お受けすることができ二重の喜びです。橋本会長は研究一筋のご立派な方ですが、たまたま、私が六年間ほど、基礎医学教室にいた頃、先生の恩師の故富田恒男先生を通じてお知りあいになりました。橋本先生も私も視覚電気生理学を研究対象としておりまして、私は橋本先生とはちがって臨床あたりでしたから、もっぱら臨床むけの研究をしていた頃です。

その後、基礎も臨床も中途半端のまま、千葉大学眼科を担当することになったのが昭和59年です。その後十九年にわたり、教室運営を担当して参りました。あらためて、かえりみますと、女性という差別はなく、たまたま、いろいろな機会に、そこにいたのが女性という感じですが、

たまたまそこにいる—ということですが、人生の行先を決めることになりました。私も、何ら人生の哲学がなかったわけではないのですが、居心地の良いところに居座っていたところ、大学生生活で、停年を迎えることになりました。

停年後は、民間の病院(千葉市、山王病院)で、眼科医として診療しております。大学では私の心から意図する臨床医のあり方が、研究・教育のノルマがあつてできなかった姿勢が、今、充分に生かすことができ、

これもやりがいのある立場となりました。アカデミアの分野から経験した見聞を実際に生かせる場が充足した毎日を送っております。

大学生活の内での雑学を毎月、眼科の学術雑誌の「つゆうち」コーナーに、書いて七年たち、未だつけております。眼にまつわるおはなし、オペラ、小説、映画からです。「眼に効く眼の話」というタイトルで小学館から発行しています。このエッセイは今後も、続けていく楽しみがあります。宣伝になってしまいました。が、お読みいただければ幸いです。学問、診療だけでは息抜きできませんよね。ということ、この次は吉岡弥生賞のことを書いてみたいと思ったりしています。資料がございましたら、ご協力いただければ幸いです。

女医学会のご発展をお祈り申し上げます。

公開講演会開催依頼について

各支部におかれまして公開講演会を開催していただき、各地の実情に合ったテーマ、演者、日程を組んで、公衆衛生生活動にご参加くださいますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

各支部から開催のお申し出があれば、資金、演者派遣などご希望に応じて、協力させていただきます。

事業部

学術研究助成を授与されて



福岡支部 萩田 桂子

このたびは、第24回日本女医学会学術研究助成を賜り、心よりお礼を申し上げます。歴史ある日本女医学会の本助成をいただきましたことを、たいへん光栄に思っております。

今回の私の研究課題は「生体部分肝移植患者における周術期栄養学的評価に関する研究」であります。私の所属しております九州大学小児外科学教室では、古くより小児の栄養と侵襲に関わる多くの研究を行ってきており、私もその中で肝疾患患者、特に胆道閉鎖症の患児についての栄養学的研究、ならびに小腸移植を必要とする腸疾患患児についての栄養学的研究に携わってまいりました。

このたびは、第24回日本女医学会学術研究助成を授与して頂きましたこと、心からお礼申し上げます。さて私は研修終了後から一貫して肝臓病の臨床研究を行ってまいりました。今回の助成テーマである肝臓癌の造影超音波検査は、約5年にわたり私の中心となる研究テーマで、わが国では造影剤の臨床応用は欧米各国に比べ遅れを取っていましたが、臨床応用できる造影剤が3年前に発売されて以来、研究は群を抜いております。今年6月にカナダ、モントリオールで行われた米国超音波学会でも多くは造影超音波に関する演題でした。

肝移植は種々の原因から引き起こされる肝不全に対する治療として発展してまいりましたが、ここ十年余り、移植医療は急速な発展を遂げてきております。海外では脳死ドナーよりの移植が盛んですが、日本ではその社会的背景に起因し、1989年に開始された生体部分肝移植がほとんどを占めています。

学術研究助成を授与されて



新宿支部 飯島 尋子

ご報告できますよう、日々邁進していく所存でございます。最後にになりましたが、日本女医学会長の橋本葉子先生をはじめ、選考委員の先生方、また九州大学小児外

このたびは、第24回日本女医学会学術研究助成を授与して頂きましたこと、心からお礼申し上げます。さて私は研修終了後から一貫して肝臓病の臨床研究を行ってまいりました。今回の助成テーマである肝臓癌の造影超音波検査は、約5年にわたり私の中心となる研究テーマで、わが国では造影剤の臨床応用は欧米各国に比べ遅れを取っていましたが、臨床応用できる造影剤が3年前に発売されて以来、研究は群を抜いております。今年6月にカナダ、モントリオールで行われた米国超音波学会でも多くは造影超音波に関する演題でした。

今回の研究テーマの主な目的は、今や社会的問題であるC型肝炎を背景とする肝細胞癌の肝内進展、発癌のメカニズムを明らかにすることまた治療への応用です。C型肝炎は、その特徴から多中心性発生が多く、一度治療してもさらに肝内の他部位から発癌を繰り返します。この事により患者さんは繰り返し検査や治療を余儀なくされています。従ってできる限り低侵襲的に検査、治療を行うことがQOLの向上にもつながると考

えており、特に肝臓のクーパー細胞に取り込む造影剤を使い、類似イメージの意義、取り込み様式を検討することにより肝細胞癌の早期診断、早期治療、再発診断、治療効果判定に活用していきたいと考えています。まだまだ、解決できない問題は多く、気泡の安全性なども問題視されており、私たちは安全性についても解決すべく基礎的研究にも着手しております。

超音波造影剤は現在何種類か発売されております。これらの造影剤は、それぞれ特徴を有し血管造影に適するものや、肝臓領域ではマクロファージであるクーパー細胞に取り込ま

れるものがあります。今回の研究テーマの主な目的は、今や社会的問題であるC型肝炎を背景とする肝細胞癌の肝内進展、発癌のメカニズムを明らかにすることまた治療への応用です。C型肝炎は、その特徴から多中心性発生が多く、一度治療してもさらに肝内の他部位から発癌を繰り返します。この事により患者さんは繰り返し検査や治療を余儀なくされています。従ってできる限り低侵襲的に検査、治療を行うことがQOLの向上にもつながると考

今回頂きました助成を有意義に活用させて頂きこれらの諸問題を一つでも多く解決し、さらに発展させるよう研究を進めていくよう努力する所存です。また今回の助成が肝臓病学、画像診断、超音波医学をめざす若手女性医師の励みになるよう努力致したいと存じます。最後に、日本女医学会長の橋本葉子先生はじめ、選考委員の先生方また女医学会の事務局の方々、直接ご指導を賜っている東京医科大学第四内科 森安史典教授をはじめ教室員の先生方、関係各位に心から感謝申し上げます。

〈総会特別講演〉

皇室継承の伝統文化について

— 雅楽の歴史 —

宮内庁式部官(非常勤) 木村 雅有

日本の歴史の中で長年にわたって、皇室が貴重な伝統文化を継承されて来られたことは大変意義のあることと思慮される。それらには正倉院宝物・歴代天皇の御宸筆をはじめとする皇室伝来の古文書、京都御所等の御所・離宮・古式馬術の打毬・母衣引、御料鶴飼、鴨猟等々多種多様なものがある。

なかでも「雅楽」は、天照大神の「天の岩戸の伝説」に起原すると言われている神楽歌、神武天皇が大和地方を平定した時の戦勝の歌といわれる久米歌等が古来の楽舞(「国歌舞」)、五世紀〜九世紀にかけて朝鮮半島や中国大陸から渡来した楽舞が平安朝に国風化された「唐楽・高麗楽」、漢詩を歌詞とする朗詠と民謡や馬子歌を歌詞とする催馬楽は平安時代に作られ、箏篋等の伴奏で歌われるようになった「歌曲」とそれぞれ起源を異にするこの三種の楽舞が一体として、千年以上にわたり今日に継承されていることは世界的にも稀なことであると同時に誠にす

ばらしいことである。雅楽がどうして今日まで継承されてきたのか。第一に、朝廷をはじめ京都の清水八幡、奈良の春日大社、興福寺、東大寺、大阪の四天王寺等の諸行事・法要の際に雅楽の演奏が必要であったこと。次に、前述の朝廷をはじめ神社仏閣に専属・奉仕していた世襲制の楽家が存続していたこと、次に、豊かな経済力を誇った平安貴族が一種の教養あるいは娯楽として熱心に演奏・作舞・作曲に取り組んだこと。

最後に、国風歌舞と外来音楽・舞等の演奏及び練習育成を目的とした古代音楽制度(雅楽寮)が行政機構のなかに制定されたこと等ではないかと思われ。

以来、平安、鎌倉、室町、桃山、江戸、明治〜平成と組織の名称・機能に変遷はあったものの、現在、宮内庁式部職楽部では宮中祭祀・宮内行事、地方公演、海外公演等において立派に雅楽演奏が行われている。ここで古代音楽制度成立とその遷

移について簡単に述べたい。大宝元年(701)治部省のなかに雅楽寮(総定員四〇九人、内雅楽生二二〇人)が制定された背景には中国の音楽制度の影響があったように思われる。たとえば、唐代音楽担当の太常寺大樂署の制度下の楽官、楽工等の楽生の名称は、推古天皇二十年(612)百濟の帰化人・味摩之が来日し、奈良で少年たちに伎楽を伝習した際、楽官・楽工を農民から選出していることが諸記録にみられるが、この制度は以後そのまま雅楽寮楽所でも使用されていたようである。当初、雅楽寮は積極的に、唐楽、百濟楽、新羅楽、高句麗楽等の外国音楽を取り入れ、国風歌舞をも含めた演奏・教育活動を行っていたようであるが、創立80年後の天平三年(731)には雅楽生が二〇人減となり、さらに七十八年後の嘉祥元年(848)には総定員が九八人と激減している。8〜10世紀にかけて、日本古来の歌曲・舞を司る歌舞所・大歌所が雅楽寮から独立し、また、9〜10世紀にかけて近衛府が雅楽演奏に係るようになり、さらに京都楽所という雅楽の演奏団体が御所の中に置かれ、引き続き奈良には南都楽所、四天王寺には天王寺楽所と三方楽所という名称が見られるようになり、雅楽寮の機能は徐々に低下していったものと思われるが、諸記録による

薬価基準収載

血清カリウム抑制剤
(ポリスチレンスルホン酸カルシウムドライシロップ)

カリメート®

ドライシロップ

効能・効果、用法・用量、使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

〔資料請求先〕
日研化学株式会社
〒104-0045 東京都中央区築地1-12-6
2003年6月作成

と、雅楽寮による奏楽は11世紀初頭まで続いていたようである。不幸にして、12世紀〜15世紀にかけての保元平治の乱、応仁の乱などの戦により京都の雅楽演奏は一時途絶えたようであったが、当時の歴史

の天皇、天王寺・南都楽所の尽力により、16世紀以降徐々に復興の兆しが見え始め、三方楽所と曲所(元大歌所)は室町、桃山、江戸と明治3年(1870)までつづき、同年11月に宮内省雅楽局に統合され、各楽所

の楽人は東京に召され、江戸の紅葉山楽人とともに現在の宮内庁楽部の基礎が作られた。なお、雅楽継承は三方楽所の歴史家としての存在にはありえなかつたであろうことを、再度、最後に強調したい。

第26回日本医学会総会シンポジウム (共催: 日本女医学会)

「我が国における女性医師をとりまく環境」
『Past, Present and Future』を企画して

九州大学大学院医学研究科教授 水田 祥代

第26回日本医学会総会が九州大学、福岡大学、久留米大学、産業医科大学の四つの大学を主管校として福岡市で本年4月4日〜6日に開催され、私は式典委員長及び学術委員会委員を務めました。学術委員として、百周年を迎えた日本女医学会との共催を提案し、シンポジウム「我が国における女性医師をとりまく環境のPast, Present and Future」を企画していただきました。その目的、司会者、演者、演題名は以下の通りです。

1 目的: 2002年発行の男女共同参画白書によると我が国における女性医師の割合は、全医師数の14.4%であり、とくに二十九歳以下

では全体の三割近くを占めています。また、一部の医科大学では約半数が女子学生であり、今後女性医師の活躍はますます期待されています。しかし、実際には仕事と家庭の両立の難しさをはじめ、いろいろな問題を抱えていることも事実です。このことは今までは個人の努力で何とかやってきたことですが、行政における男女共同参画社会基本法の制定をはじめとして時代は変化しており社会全体で考える時期となつてきています。このような時期に我が国における女性医師をとりまく環境の変化を振り返り、将来への期待と提言を行うこと。

2 司会: 柳田喜美子(福岡県副知事) 水田祥代(九州大学大学院医学研究科教授) 藤巻高光(帝京大学脳神経外科教授) 藤巻わかえ(東京女子医大微生物学免疫学)

3 演者および演題: 柳田喜美子(福岡県副知事) 水田祥代(九州大学大学院医学研究科教授) 藤巻高光(帝京大学脳神経外科教授) 藤巻わかえ(東京女子医大微生物学免疫学)

性医師をとりまく環境のPast, Present and Futureは司会平敷淳子(埼玉医科大学放射線教授)、稗田慶子(福岡県副知事)で行われた。橋本葉子日本女医学会会長は2002年に創立百周年を迎えた女医学会が最初は知識の増進と意志の疎通を計ることを目的としたこと。1976年に社団法人格を得てからは福祉、地域医療、国際交流に力を入れ、1976年には第15回国際女医学会を東京で開催したことなど歴史的なことを述べられ、今後21世紀の福祉医療の担い手として女性医師の責任が重い事を認識しなければならぬと発言された。

坂東眞理子内閣府男女共同参画局長は女性が医学部進学者の三割を超え今後も増加すると予測される21世紀は女性の働く環境を整える事が日本の医療水準を左右するものであり、法で定められた育休等を取る事ができ、復帰前の研修体制を整える事などが必要であり、その事を医学界に期待すると発言された。

柳田喜美子日本医師会常任理事は女性医師の妊娠、育児中の変則勤務とそのための代替医の確保、休職中の学習システム等具体的施策を実施する時期に来ている事を強調された。津田喬子名古屋市立大学麻酔科助教授は男性と平等に評価されるためには結婚、出産を諦めざるを得な

医師同士が夫婦となつて

帝京大学脳神経外科 藤巻 高光
東京女子医大微生物学免疫学 藤巻 わかえ

つた女性が多くその選択は今も余り変つていない。21世紀は医学界の女性に対する意識と環境の変化を促す強い意志が女医自身に求められていくと発言された。

藤巻高光帝京大学脳神経外科講師は女医の夫として仕事も家庭も共に協力し合うものであり、その観点から男性医師に対してもJob shareを認めるよう社会の意識を変える必要

日本のCAPDとともに

低カルシウム透析液
ミッドペリック®L 135 250 400
薬価基準収載

● 効能・効果 ● 用法・用量、禁忌、使用上の注意に
製品添付文書を参照ください。

資料請求先 テルモ株式会社 学術情報部 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 http://www.terumo.co.jp/

シンポジウムの司会をして

福岡県副知事 稗田 慶子

第26回日本医学会総会が平成15年4月4〜6日福岡で開催された。基本理念は「人間科学、日本から世界へ」21世紀を拓く医学と医療信頼と豊かさを求めて」で参加者は三、

三二五四名であった。百年目を迎えた21世紀初の総会であり、初めて福岡で開催された記念すべき総会であった。シンポジウム「我が国における女

去る4月10日から13日に、カンツオーネの故郷、ナポリで行われた第1回欧州女医学会に参加した。国際女医学会の中で、三つに分かれている欧州支部（北ヨーロッパ支部、中央ヨーロッパ支部、南ヨーロッパ支部）が、今回初めて合同で行った学会である。開催地がイタリアということもあり、ほとんどの参加者が、イタリア人の女医さんたちであり、イタリア語と英語の二カ国語がOfficial Languageとして飛び交う学会であった。おしやれに卓越したイタリアンマダムな女医さんたちに混じり、学術集会をはじめクラシック音楽のコンサートを前座としたディナーなどのSocial Eventや、毎食のおいしい

場合が比較的多いものと考えられますが、医師同士が夫婦の場合、専門知識を補いあえるなどの利点がある反面、当直や突然の時間外勤務が多く、特に女性には妊娠出産が、また双方にとっては育児が、「医師」という職業との両立において最大の困難になると思われます。出産以外については夫が代わられる点も少なくないと思いますが、育児における両性の役割には差があり、母親の役割を父親が代わる事はできないとの説もあります。実際、女性医師が仕事のペースダウンや中断をすることにより対処している場合が多いと考えられます。しかしひとたびペースダウンされると、現在の日本ではフルタイムの勤務医として復帰することは容易ではありません。女性医学生が増加により将来女性医師の比率は40-50%にまで増加すると考えられますが、現状のような「自己規制」が働いていると、診療、教育ともに人的不足状態をも来たものと予想されます。全国的に共通かつ均一の卒後教育システムをとることにより、卒後研修に一時中断があっても再度中断点からの研修への復帰が可能になるようにする、また、中断中は自宅でも可能な通信やITを用いた研修システムを構築するといった対処法があると思います。勤務体制もいたずらな長時間労働ではなく、タイム

第1回欧州女医学会に参加して

ブリュッセル自由大学医学部
集中治療医学研究員

矢口有乃

前日まで中国に渡り、衛生省大臣と交渉をされ、講演時間間に福岡にいられたとのことで、打ち合わせの時間にも携帯電話でWHO本部や西太平洋事務局と連絡をとり、指示を出す慌しさでした。SARSの問題は極めてポリテカルな問題で、十分お話しできないが、聴衆の方々が今一番聞きたいことではないかと思

うのでといって後半はSARSについて話されました。献身的な医療人の犠牲（含・WHOスタッフ、イタリア人医師）により、コロナウイルスによる飛沫感染と判明、動物の関与なども話され、近い将来ワクチンができるはずと、WHOの活動を十分知ることのできた講演でした。

イタリア料理と心地よいサンタラチアの太陽、そして地中海の真っ青な海を堪能した四日間であった。今回は、「Being a Woman Doctor in Europe」というテーマのパネルディスカッションのセッションで、「International comparative of current situations of the female physicians」について発表を行った。これは、国際女医学会副会長（中央ヨーロッパ担当）、スウェーデンのLinköping大学医学部形成外科学教授 Dissa Lidman 女史が行っている共同研究の結果を一部、発表したものである。全世界二十三国、各国の女医学会の会長あてに、本年1月から2月までの間に行った、各国の女性医師

の勤務状況などのアンケート調査の結果報告である。内容は、各国の女性医師の割合、女子医学生の割合、医学部教授の女性の占める割合、女性医師の多い専門科とその科における女性医師の割合から、産休、育児休暇の日数、週間勤務時間、当直時間、賃金を調査し、各国間で比較検討した。発表時までに得られた回答は、八カ国ではあったが、スウェーデン、フィンランド、ベルギー、イス、タイ、台湾、米国、日本と地域的には、均等に分散され、しかも国際規模で行われた調査は今までなかったようであり、発表に対し、大きな反響を得ることができた。イタリアのメジャーな全国紙である、IL SOLE 24 ORE という新聞社からも取材を受け、新聞に掲載されたことも、得がたい経験となった。非常に興味深いことは、八カ国、どの国においても女子医学生の数が増加していること、外科系が少ないという専門科に偏りがあること、また大学での教授職に占める女性の割合が非常に少ないことが共通点であった。今後、さらに他の国も加えて報告したいと考えている。さらには、各国の女性医師たちを対象とした、生の声を得られるような実態調査も行いたいと考えている。同日午後からのワークショップでも、「なぜ、外科系の女性医師が少ないのか、なぜ、

医療の質を高めることにつながると考えられます。最後に「がんばりすぎないでね、でも止まらないでね」をメッセージとして発信し、発表を終了いたしました。

総会で座長をつとめて

日本医師会常任理事 青井 禮子

第26回日本医学会総会のテーマは「21世紀を拓く医学と医療—日本から世界へ—」でしたが、まさに今、日本の医療人は世界に出て大活躍中です。WHO西太平洋地域事務局長尾身茂氏もその一人で、4月4日、この総会で「外から見た日本の医療と医療人」について特別講演をなさいましたが、私はその座長を務めさせていただきましたのでご報告いたします。

そのテーマは人間医療学の確立をめざせというものです。日本は平均寿命のみならず健康寿命も世界一とWHOは評価しましたが、患者満足度は低いといわれます。それは医療人が科学を過信し、心をどこかに置き忘れたためではないのかという指摘であります。開会式後の杉岡会頭

＜訂正のお知らせ＞

日本女医誌第174号11ページ・2段・後ろから8行目に誤りがございましたので訂正し、お詫び申し上げます。
誤 全回答者が家庭教育、学校教育、社会教育としていました。
正 全回答者が家庭教育、そして学校教育、そして社会教育としていました。

お願い

会員名簿作成のため、住所、電話番号の変更、または改姓等がありましたら、至急事務局までお知らせください。
庶務部



マクロライド系抗生物質製剤〔薬価基準収載〕

クラリス 錠200 錠50 小児用
ドライシロップ 小児用

指定医薬品・要指示医薬品※) クラリスロマイシン製剤
注) 注意—医師等の処方せん、指示により使用すること

販売元【資料請求先】

大正富山医薬品株式会社
〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1

製造元

大正製薬株式会社
〒170-8633 東京都豊島区高田3-24-1

進路、ライフサイクルの分析を行いました。女性医師は記載なし（所属無し）の率が卒業後15年目16・5%まで増加傾向を認めました。また開業医の比率も卒業後20年目が32%と、医師全体の同年代の開業医25%より高い傾向を示しました。一方婚姻率は不明ですが改姓率では外科系が低い傾向を示していました。また厚労省統計では大学病院に勤務する女性医師はより若年の傾向であり、早期に大学病院をはなれる傾向にありました。さらに開業では診療所の開設者ではなく診療所の従事者になっている場合が多いことがわかりました。これらの数字が意味することは、外科系を選んだ医師は比較的姓がかわることなく勤務医でいるもの、それ以外の女性医師は、大学病院での初期、中期研修が終わるとそのまま大学にとどまることは少なく、無職の期間を経て診療所の従事者となる、という縮図です。しかしながら、外科系を選択する女性医師の割合が徐々に増加しつつあることもわかりました。第三点のインターネットHPでの意見交換では、女性医師およびその夫から育児に関する金銭的悩みの訴えがもつとも多く寄せられました。ライフサイクルの解析から示された「所属無し」と無関係とは思えませんでした。女性医師の夫としては男性医師の

ムシフトを含むJob shareを行うことにより、男女を問わず働きやすく人間らしい職場を実現していくことができるのではないのでしょうか。これは医師の人的、質的充足にもつながり、ひいては医療過誤の減少など

が無力感をもっていることへの配慮の四つの欠如が日本の医療を苦しめるものになっているのではないかと、「病める心をいかに癒すか」が命題の21世紀の医療においては、生物学的方法によって目覚ましい発展を遂げた日本の医療ではあるが、ここに来てこの方法のみでは限界があることを知り、新たな価値観に基づく「人間医療学」の確立を提唱されました。ちょうど重症新型肺炎SARSが香港を筆頭に西太平洋地域各国に蔓延しようとしている時であったため

女性医師の教授職を占める割合が少ないのか、その解決策は何か」が取りあげられ、約十名の小グループに分かれてのワークショップだったこともあり、活発な議論となり、本音の声も聞かれて、専業主婦の少ない欧州でさえも、医師という職業においては、現状は本邦と変わらないことがわかり、非常に有意義なものであった。そもそも、このテーマに興味を持った理由は、米国、欧州との留学経験から、欧米でも、外科系の女性医師や、教授職を占める女性医師が非常に少なく、「なぜなのか？」という疑問が生じたからであった。学会を通じて、Prof. Lidmanを始め、中央ヨーロッパ支部長のDr. Blaster、国際女医会のGeneral Secretary, Dr. Diekhaus、や各国の支部長さんたちと電子メール上でのつながりであったのが、実際、顔を合わせることで、さらなる交流を深めることができ、また今後、このプロジェクトへの快いサポートと激励を受けられたことが最大の収穫であった。来夏の東京で開かれる国際女医学会での再会を今から心待ちにしている次第である。

第26回国際女医会議にむけて

MWIA、2004事務局長 平敷 淳子

過去数年間、総会の折りにお話ししておりました国際女医会議の開催まであと一年となりました。新理事のもと第26回国際女医会議組織委員会が再編成されました。
2nd circularも完成いたしましたし、国内外に直ちに発送いたしましたので、お手元に届いておることと思います。会議は2004年7月28日(水)から8月1日(日)まで京王プラザホテル(東京)でおこなわれます。Scientific and social programが満載です。

7月27日(火)の夜は遠来の客とともに旧交をあたため、会の盛会を祈念するice craking party が京王プラザホテルでひらかれます。
7月28日(水)は緒方貞子氏による基調講演、開会式、opening receptionとあります。開会式には百周年記念式典と同等かそれ以上の厳かなものを企画しております。学術的には新しいライフスタイルに付随して生じてくる種々の問題を多角的にとりあげます。Plenary session, luncheon lecture, symposium, workshop, 病院見学と連日のスケジュールを検討中です。講演者や座長は日本の先生と海外の先生の組み合わせ、学生やコーディネーターの参加するシンポジウムも計画中です。MWIAにご尽力くださっている海外の先生がたにはできるだけ多くご参加いただけるようspecial speakerの枠も設け、なにがしかの財政的な援助をいたそうと考えております。さらに演題応募者の中から選奨委員により選ばれた約五十名に五万円の資金援助をだせればと企画中です。

第26回国際女医会議を 成功させるためのお願い

会長 橋本 葉子

会員の先生方には会期中に英語によるお手伝いをお願いいたしたくMWIA、2004年の事務局長平敷淳子(へしき・あつこ)までご連絡ください。Eメールは、heshiki@saitama-med.ac.jp FAX: 049-295-8003です。忌憚のないご意見をお寄せくださいませ。

盛夏の節、会員の皆様にはますます清祥のこととお慶び申し上げます。さて、役員選挙も済み、新たな組織委員の業務分担も決定致しました

ので、第26回国際女医会議の準備を急ピッチで進めなければなりません。国際女医会議を成功させる最も大きな要素は運営資金であると考えます。現時点では、海外から二五〇名、国内から四〇〇名の参加を予定しており、総予算は六、〇〇〇万円を見込んでおります。諸経費は参加登録費で賄うことが建前ですが、今回の参加者には医学部の学生やコ・メディカルの参加も予定しておりますので、参加者の負担できる額には限度があります。補助金・助成金への応募、協賛していただける関係企業への寄付のお願いなど、可能な限り努力致しますが、会員各位のご寄付もお願いしたいと考えております。

「日本女性腎臓専門医の会」の発足

理事 大坪 公子

2003年6月21日(土)、大阪厚生年金会館において、「日本女性腎臓専門医の会」(Japanese Society of Women Nephrologists) JWNの発足会が行われました。腎臓部門での女性医師の活躍は目ざましいものがあり、このような会の発足が待たれていました。会の目的は、女性のネフロロジストの育成と地位の向上を目指します。日本透析医学会、または日本腎臓学会に属する女性医師を対象として、この領域における現状、今後

募、協賛していただける関係企業への寄付のお願いなど、可能な限り努力致しますが、会員各位のご寄付もお願いしたいと考えております。既に会員の山崎倫子先生、今野信子先生、吉武 幸先生から多額のご寄付を頂戴しております。寄付に關しましては改めて書類を送らせていただきますが、二十八年ぶりに日本で開催されます国際女医会議を成功させるべく、会員皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申しあげます。

女性医師会員が継続して地域医療事業を行う一助として、東京東部地区七区医師会(女医会葛飾支部担当)を中心として、都内・近隣県の会員と青井日本医師会理事が集まり、年に二回情報提供、研究会を開催してきました。女性医師懇談会(JOY-2000)の名称は初回演者の三輪弁護士が楽しい会であるようにと命名されました。会場に集まった女性医師は多彩な経歴と活動経験があり、TV出演、講演、言語、IT、美術、文章など専門分野以外にも広く活動できる方が多く、今後の医師会・女医会活動に必要な人材も揃いました。

悪質クレーマー対策として弁護士、医事紛争専門医師、日本医師会理事等にお願ひして講演会を開きました。JOYの会名にふさわしい「美しい歩き方教室」シャンソン合唱「ピーリングと輝く素肌」話し方講座」等も同時に開催されます。

今回はご欠席でしたが、日本女医会長の橋本先生は、初回から欠かさずにご出席下さっています。第5回

第7回女性医師懇談会(JOY-2003)

葛飾支部 山口 いづみ

の会員の協力要請がありました。JOY-2000も回を重ねてJOY-2003になり、第7回は34名の方にご参加いただきました。山梨県や静岡県からのご参加もありました。

当会の青井禮子先生が日本医師会常任理事に就任なさり、各種医療関連の生情報も迅速に多大に増加し、ご参加の皆様からの質問と明るい笑い声が会場にあふれました。健康保

日常英会話がおできになる先生へ 是非先生のお力を、MWIA 2004 国際女医会議に おかけください!

1. 英文abstractの日本語訳 scientific committee members (7名) 決定済み。
2. Home stay先のご案内とお引き合わせ(2名)
7月29日(木) 9時から10時まで。
3. Travel fundの支給係り(2名)
7月29日(木) 14時から16時
4. Hospital visit escort (10名)
7月30日(金) 14時から17時ごろ
京王プラザホテルから予定先の病院見学中のエスコートと病院からホテルへのエスコート。

●ご連絡申し込み先：平敷 淳子(へしきあつこ)まで。
TEL: 049-276-1265 FAX: 049-295-8003
E-mail: heshiki@saitama-med.ac.jp

除点数算定の変更可能や株式会社の参入が問題となりました。

特別講演は東京女子医大産婦人科太田博明先生の「サクセスフルエー

「世界の住宅」をご講演いただいたるみ沢成明先生は今回のNHK出

四十八歳の留学

世田谷支部 佐久間もと

停年退職までの行くさき十余年は安泰の職席であったが、職をすてて留学を始めた時、私はすでに四十八歳であった。その頃の昭和50年代は、

留学とは、若者のための物と承知の上で、二十数年の遅れを背負って、

演資料をご提示して説明してくださいました。天才のコルビジュエが造る家は壁と床がざらざらで、肌を擦り剥けそうなどと楽しい講演でした。終了後は三世代住宅の大家であられるので、個人相談が殺到してしまいました。

今回は1月10日(土)、次回7月10日(土)の予定です。郵送料の関係で多数の方にお知らせできません。ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

ミシガン州デトロイトに渡った。ゆきついたウエイン州立大学精神科は、州政府直属の教育用モデル施設であった。そして二五〇床の病棟に、作業療法室などパラメディカル施設を網羅する診療部門と、猿の飼育までもできる動物研究棟を備えていた。

これが障害者という個を相手に始してきた日本の精神医学と医療との根本的違いであるとわかった。実に診療研究部門とも魅力的であったが、宿望であった実験研究を選んだ。動物と人間の両者に共通点の多い行動を用いて、精神障害モデルを創作するときめた。半歩でも良いから、闇につつまれた精神障害成立のなぞに近づきたい一心であった。飼料として脳内伝達物質であるトリプトファンを選び、妊娠鼠に与えた。結果としてきわだった行動異常、即ち精神障害者の突発行為と行動上同一視しうる行動を得た。

ところが、世間は甘くなく、研究を守り抜く必要が出た。このためこの研究を、アメリカの特許局に申請した。申請中は、国外居住を許されないため、滞米を続けることとなった。この間、根拠地であったウエイン州立大精神科は分裂し、ラフェセツト・クリニックは、州政府の手で閉鎖された。幸いアメリカは、個人のプロジェクトを受容してくれる。つまり独立独立で研究できるのである。肩書きも所属も必要としない。ついに特許を獲得した。

これで一区切りがついたため、帰国して、日本でこの研究を持続することにした。滞米は、二十余年にわたったが、女ひとり大地を歩けると

の体験は、得たい物と感じて悔はない。わが後輩の皆様、外国でのご経験をなされるよう念じておりま

愛媛支部から

岸 澄子

梅雨の晴れ間の6月29日、松山全日空ホテルで愛媛支部会を開催いたしました。

支部の活性化についてでした。大野先生の司会で、元支部長星加先生の乾杯の音頭でなごやかに会がはじまりました。会員がおたがいによく知り合い、理解しあうために自己紹介を時間をかけて行いました。自分の過去、現在、未来について詳しく話します。



今年傘寿をお迎えになられる星加先生からは昭和20年に繰上げ卒業され、大切なノートを抱えてやっとなごの新婚浜に帰られたこと、ユーモラスな結婚のエピソード、ご開業後は昼夜もなく大勢の患者の診療に励まれたことなど昭和の女医史に聞き入りました。

皆の心が一つになって、これからの愛媛支部会の取り組みについて相談しました。元日本女医学会員で自然退会になっておられる方々に再入会を勧めること、日本女医学会の存在を知らない方々にもパンフレットを送付してお誘いすることにしました。

稲生襄先生の「柎」を出版に寄せて

神奈川支部 中濱昌子

稲生先生は平成15年3月に、私史「柎」を出版されました。

序文を書かれた助川信彦先生は、神医歌壇(神奈川県医師会短歌部)の責任者及び横浜市医師会短歌部長でいらっしやいます。稲生先生が初めて神医歌壇に投稿なさった平成元年7月よりのお知り合いで、よき助言者です。

旅行の好きな先生は、「柎」の三分の二は旅行記です。書くことの得意

ますます女性医師の活躍が期待されることとなります。後輩の先生方からパワーをいただき、先輩の先生方からは豊富な経験に基づいた人生の指針を教えられとても有意義な時間を共有できました。

来年の定時総会の案内と青森支部長、前田摩子先生の熱いお誘いをご報告しました。秋に親睦会をすることを決めて、前支部長、高岡先生の閉会の辞で楽しく会を終りました。

川崎市医師会、神医歌壇、日本女医学会、川崎市立中原小学校(先生が二十三年間校医をしていらっしやい

ました)関係者、町内の方たち、知人、親戚の方々など約六十名が集いました。

司会者は、元女優の山本美佐子さんです。司会者の開会の挨拶、助川先生の発起人挨拶、山崎康子先生(日本女医会理事)の乾杯の挨拶で始まり、しばし歓談、ついでお祝いのスピーチに移りました。日本女医会からは十七名出席し、大竹輝子、小

『性差医学入門』

監修・貴邑富久子 翻訳編集代表・荒木葉子

本書は、米国のセックス差とジェンダー差の生物学を理解するための委員会(Committee on Understanding the Biology of Sex and Gender Differences)が、米政府諸機関と研究者達から集めた性差に関する文献を解析し、その結果をまとめた報告書を翻訳したものである。報告書のタイトルは「Exploring the Biological Contributions to Human Health: Does Sex Matter? : 人間の健康にとって、性は重要であるか?」となっているが、日本においては

さらには男女の生理機能と疾患にお

関温子、大坪公子、白浜光子各先生と私が祝いの言葉を述べました。稲生先生の謝辞のあと、野末悦子先生(川崎市医師会、日本女医学会)の花束贈呈があり、司会者の閉会の挨拶で終わりました。

祝賀会にふさわしく暖かい賑やかな会でした。私史出版を祝はるる日の先生は和服姿にて 貫祿のあり

『性差医学入門』

監修・貴邑富久子 翻訳編集代表・荒木葉子

る性差の研究が必須であると考えられるので、日本語訳の表題はあえて「性差医学入門」と命名されたのである。本書は性差研究のための六提言と発展を阻む障壁打開のための八提言が核となっている。性差医学の発展によって、初めて性特異性を加味した治療戦略が開発できる筈である。私が特に興味を持ったのは、性差と臨床における重要性とを対比させて一覽表とした付録2「生理学的及び薬理学的性差」である。この表は治療薬への反応の性差を理解するために、臨床家にとっても有益であると思う。

必読をお奨めする。

理事会議事録

日時：平成15年2月15日(土) 午後3時より

場所：日本女医学会会議室

出席者：橋本、石原、加藤、橋川、大坪、川田、鹿田、清水、田中、角田、久田、平敷、松井、村田、森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(續)、吉崎、野澤

欠席者：青井、内潟、澤口、丸茂、山本(時)、松本 (以上6名) 1月理事会議事録を承認

報告事項 一、庶務報告 久田理事 別紙どおり報告、承認される。 二、会計報告 川田理事 平成15年1月分収支別紙どおり報告、承認される。 三、各部報告

【広報部】 松井理事 ・日本女医学会誌174号の原稿を3月10日締め切りで募集中。「各部報告」の原稿も依頼。 【渉外部】 角田理事 ・自民党主催「各種団体との新年懇親会出席の報告」

【平敷理事より】 ・2月10日に「中東女性交流」訪日団に関する打合わせの報告 協議事項 一、平成15年度事業計画案および予

算案
①学術部
・学術講演会・講演候補者(案)について
総会時の講演会は講演者に交渉中
役員選挙の有無により時間が決定されるので、その旨を承諾いただき講師に依頼する。
・「女性医師のキャリア形成と健康調査」について
調査が実施できなかったため今年度予算の一〇〇万円を次年度への予算の繰り越しを決定する。調査対象を理事の出身校中郡内の五校程度、年齢は卒後10〜15年とし、アンケートを送付。送付する大学へ理事から打診してほしいとの希望が荒木会員よりあり、承認。全面的に学術部が協力する。
②その他の部は前年通り
二、国際女医会議の件
・コングレスバッグの件
前回は続き、色・デザイン・素材を検討し、数種のサンプルの作成を再度依頼する。
・中東女性交流の件
①世界情勢によりパレスチナからの参加が中止となる。
②雅子皇太子妃への謁見が18日に可能となった。
③平敷理事より2月17日〜25日までの東京中心のスケジュール、山本横子理事より、21日名古屋で開催され

理事会議事録

日時：平成15年3月15日(土)
午後3時より
場所：日本女医会会議室
出席者：橋本、石原、加藤、橋川、青井、内堀、大坪、澤口、鹿田、清水、角田、久田、平敷、松井、森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(詩)、野澤 (以上19名)
欠席者：川田、田中、丸茂、村田、山本(續)、吉崎、松本 (以上7名)
2月理事会議事録を承認
報告事項
一、庶務報告 清水理事
別紙とおり報告、承認される。
二、会計報告 青井理事
平成15年2月分収支別紙と報告承認される。
三、各部報告
【広報部】 松井理事
日本女医会誌174号の割付会議を3月25日に開催予定
【山崎(ト)理事より】
3月2日に宇都宮市役所大会議場で開催された「十代の性と健康」指

導者養成講座」が大成裡に終了の報告。協力に対し謝辞があった。
第三回」に多数の出席を要請。
以上
副会長(庶務部担当) 石原 鹿田、清水、久田
【十代の性と健康】指導者養成講座
「市民公開フォーラム」と22日のエクスカージョンについてそれぞれ説明。
三、第48回定時総会(含む選挙)の件
・評議員会は10:00〜11:30、昼食は11:30〜12:30、総会と選挙の時間は選挙の有無によるが、講演会は16:00〜17:00、懇親会17:30〜19:30とする。しかし、最終決定は3月18日の立候補届の締め切り以降になるため、最終的決定は会長、副会長、庶務部に一任する。
・宮城支部長から出された、「選挙への提言」は評議員会に提案し会誌に記載、会員の意見を広く集め、その後改めて総会で検討する。
四、地域医療奉仕活動への助成の件
一名推薦があり検討したが、個人的な活動内容のため今回は見送る。
五、その他
・熊本支部長からの提案
熊本支部会員が六名なので、近隣の支部と活動を一緒にしたい旨の希望があった。他支部でも同様な意見があり、評議員会で討議することに決定。
・顧問弁護士との件
今まで厚生労働省との交渉等たびたびお世話になっているが、年間契約の顧問料の支払いは無理であるため、担当弁護士に件別謝礼として了承頂けるよう、石原副会長が伺う。
・山崎(ト)理事より3月2日開催の

理事会議事録

日時：平成15年4月20日(土)
午後3時より
場所：京王プラザホテル
出席者：橋本、石原、加藤、橋川、青井、大坪、澤口、鹿田、清水、田中、角田、久田、平敷、松井、森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(續)、山本(詩)、吉崎、野澤、松本 (以上22名)
欠席者：内堀、川田、丸茂、村田 (以上4名)
3月理事会議事録を承認
報告事項
一、庶務報告 久田理事
別紙とおり報告、承認される。
二、会計報告 青井理事
平成15年3月分収支別紙と報告承認される。
三、各部報告
【広報部】 山崎(康)理事
・会誌174号の割付会議を3月25日に校正会議を4月7日に開催。近日中に発送予定。
協議事項
一、第48回定時総会の件
①別紙各次第(案)に基づいて所要時間、発表者を検討し、無駄のない進行に努める。

た選挙管理委員会の報告。
・理事の立候補者が二名であり、「会長・副会長の互選」のみの選挙。
・理事席と立候補者席を用意し、誤解の生じないようにスムーズに別室に移動、互選後も直ちに会場に戻り、結果を報告する。
・新しく立候補された会員には「立候補席」のお知らせを公式にする。
・当日欠席の立候補者の「会長・副会長の選挙」については選挙管理委員長の意見を伺う。
③表彰後の受賞者の挨拶はなしとし、懇親会で改めて伺う。
④講演会講師の先生には澤口理事より懇親会までの出席を依頼する。
⑤控室も用意する。
⑥懇親会は自由席。開会の挨拶、乾杯、表彰者の挨拶、閉会の挨拶のみ。
⑦橋川副会長より次々期開催地としては愛知支部に承諾いただいた旨の報告。中野愛知支部長より「2004年に愛知支部創立40周年記念行事があるが、鋭意努力する」との力強い言葉があった。
二、2004年国際女医会議「2nd circular」の件
4月16日に2nd circular 検討会開催の報告。
①パーティに関して
・前日はウエルカムレセプションとし、ice cracked party/get gather

評議員会議事録

日時：平成15年5月17日(土)
午後10時05分開会
場所：京王プラザホテル
(東京都新宿区西新宿2-2-1)
午前10時05分開会
司会 鹿田 儀子
②剰余金処分案 川田喜代子
次期会計へ繰り越すことを原案と

evening、自由に入出入りのできるものとする(無料)。
・皇室関係者のご臨席の開会式(未定)後、立食式のウエルカムパーティーを開催。
・Japanese eveningとして庭園美術館に打診中。椿山荘、八方苑、ホテルオークラも候補に挙がっている。他に推薦を要請。
・31日はガラパーティー。
②Scientific関係
・基調講演として緒方貞子氏が前向きで検討してくださっている。
・プレナリーとして三スポットある。
(1)小児外科・水田先生(九大・小児外科) (2)遺伝子治療・診断・齋藤加代子先生(東京女子医大・小児科) (3)未定。「糖尿病」「女性医師について」が候補に上げられている。すべて国内・国外でペアーを組み行う。
③病院見学をホームページに掲載予定。見学可能な病院の提供を理事に依頼。
④オプショナルツアーの推薦を理事に依頼。
2nd circular (案)を最終的にDr. Janet Tatと検討する。
演題・ポスターセッションへ参加の意見が出された。具体的な点は会計部と今後検討する。
⑥ランチョンセミナー(三日間三コマずつ)のスポンサーとなる企業を内堀・平敷・山本(續)各学術担当理

評議員会議事録

日時：平成15年5月17日(土)
午後10時05分開会
場所：京王プラザホテル
(東京都新宿区西新宿2-2-1)
午前10時05分開会
司会 鹿田 儀子
②剰余金処分案 川田喜代子
次期会計へ繰り越すことを原案と

成については会長に一任する。
・誤解を招かぬよう理事席の徹底、議事決定後の承認・挨拶の徹底に努める。
三、平成15年度事業計画案および予算案
・各部より提出された予算(前年度と同様)で予算案を作成する。
・繰越金が四〇〇万円程減少する見込み。各部予算内での支出を心がける事。本部預かり年金より不足分を繰り入れる事に決定。
四、その他
・次々期総会開催地として兵庫支部に石原副会長より打診する。
・橋本会長より「中東女性交流」の報告。
・下記三件の後援依頼があり承認する。
①性と健康を考える女性専門家の会
2003年「性と健康を考える女性専門家の会」総会シンポジウム「女性と子供をたばこから守るために21世紀の環境をつくろう！」
②乳房健康研究会より
「ウォークフォーブレストケアー2003イン大阪」
「ウォークフォーブレストケアー2003」
③医療法人AAM代表石原秀一氏より「華齡フォーラム2003」
以上
副会長(庶務部担当) 石原

おり可決
会計監査報告
野澤良美
監査の結果適法かつ正確であることとを認める旨の報告、承認される。

第2号議案
加藤竹子
平成15年度事業計画案
〈庶務部〉

・会員増加推進
・吉岡弥生賞
・ブロック別懇談会の開催
〈學術部〉

・研究助成
・學術講演研修会を年数回開催
・「女性医師のキャリア形成と健康調査」の実施
〈事業部〉

・全国公募による公開講演会の援助
・荻野吟子賞、地域功労賞の決定と授与
・地域医療奉仕活動への助成
・社会保険新報社への原稿協力・月刊「いきいき」に健康記事掲載

・講習会等の事業実施
・災害、緊急時行動
・バザー、親睦活動による事業

・ホームページの更新と活用
・人材バンクデータベースの運用
・糖尿病雑誌「ゆうゆう糖尿病」の発行

・社会福祉・医療事業団「子育て支援基金」からの助成金による継続事業
・厚生労働省「健やか親子21推進協議会」の協力団体として活動

〈渉外部〉

・国内各団体との交流
・国際交流
・国連NGO国内婦人委員会として活動
・国連NGO国内婦人委員会関連、中東女性交流事業の受け入れ団体としての諸活動

・女性の異業種団体との交流
・マスコミへの働きかけ
・その他
〈広報部〉

・機関紙の発行

第26回国際女医学会議組織委員会
・2004年国際女医学会議開催に向けての活動
子育て支援委員会

・社会福祉・医療事業団から助成を受け、「十代の性と健康」指導者養成
・講座の開催
——以上原案どおり可決

第3号議案
平成15年度一般会計収支予算案
森川由紀子

第4号議案
次期および次々期総会開催地に関する件
次々期開催地 青森
次々期開催地 愛知
——原案どおり可決

その他

①国際女医学会会長に平敷理事が立候補する旨の意思表示があった。2004年東京で開催される第26回国際女医学会・総会の時に選挙がある。日本女医学会全員での応援を決定する。

②橋本会長より宮城支部から提出された「日本女医学会役員任期についての提言」について紹介があり、宮城支部長小田泰子先生より説明があった。理事会の検討事項とし、次期役員改選時までに具体策を提示する。

③川田理事より14年度末で退任された青井禮子先生に日本女医学会顧問として就任していただいていたかどうかと、提案された。総会で提案し、理事会の検討事項とする。

石原幸子
午前11時30分閉会

閉会の辞

会員動静(敬称略)

◇新卒新入

興津 裕美 東女学内
恩田 順子 東女学内
重安 千花 東女学内
田中 香野 東女学内
渡辺 博美 東女学内

◇入会

西谷 陽子(平成10年卒) 北海道
山下由紀子(昭和40年卒) 岩手
布瀬谷先子(平成5年卒) 埼玉
丸山 圭子(昭和56年卒) 埼玉

佐藤 豊子(昭和41年卒) 足立
橋本 洋子(昭和29年卒) 足立
井口 清香(平成10年卒) 新宿
佐久間もと(昭和30年卒) 世田谷
若野 郁子(昭和35年卒) 練馬
野原 理子(平成6年卒) 東女医内
季 秀 玲(昭和49年卒) 東女学内
益邑 千草(平成3年卒) 都下東
宮川めぐみ(昭和52年卒) 神奈川
横田 仁子(昭和63年卒) 神奈川
渡辺 敏恵(昭和54年卒) 神奈川
中野 博子(昭和50年卒) 愛媛
森 嘉子(平成4年卒) 滋賀
安部 陸美(昭和57年卒) 鳥取
北原 桂子(昭和47年卒) 鳥取
但馬 啓子(昭和63年卒) 鳥取
堀 郁子(昭和60年卒) 鳥取
小幡 泰子(平成3年卒) 福岡
横越美佐子(昭和37年卒) 富山
大門 公子(昭和35年卒) 京都

岩崎てる子(昭和13年卒) 茨城
二宮 もと(昭和16年卒) 千葉
嘉悦 敬子(昭和16年卒) 世田谷
森田 和子(昭和18年卒) 中央
中西 千鶴(昭和23年卒) 神奈川
小林 梅子(昭和9年卒) 山梨
浅井恵美子(昭和30年卒) 愛知
黒澤 安子(昭和9年卒) 長野
岡嶋喜代子(昭和19年卒) 大阪第10
守屋 翠(昭和9年卒) 京都
柏村 翠子(昭和25年卒) 兵庫

◇物故
37名

◇退会者
37名

集記
編後

第48回定時総会も無事終了し新旧役員交代も行われました。次の目標は2004年の国際女医学会です。会長はじめ全理事が成功という目標に向けて努力を重ねてまいりたいと思っております。しかし、真の成功の鍵は、全会員皆様のご協力であると考えております。この会議では次々期会長選出がおこなわれます。平敷淳子ナショナルコーディネーターが立候補いたします。会員多数のご出席がわが国からの国際女医学会会長を誕生させることとなります。会報には、新理事のこれからの抱負も掲載されています。また、各種の大事なお知らせも網羅してありますのでぜひ全紙面にお目通しいただきますようお願いいたします。
(山崎康子)

日本女医学会誌

第175号

平成15年8月25日発行

編集人 大坪公子

発行人 橋本葉

制作 橋本剛

発行所 社団法人日本女医学会

東京都渋谷区谷2-8-7

青山宮野ビル 電話 03-3498-0571

〒150-0002 FAX 03-3498-8769

http://www.jmwa.or.jp

e-mail address: office@jmwa.or.jp